

平成 29 年 10 月 6 日

国土交通省 中部地方整備局

平成29年度 中部地方整備局入札監視委員会 第一部会第2回定例会議を開催しました

－ 審議概要を公表します －

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識研究者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

平成29年度第1四半期(平成29年4月から6月まで)に発注した工事等の中から抽出した8件の事案について審議を行いました。

審議概要をお知らせいたします。

1. 開催日時及び場所
日 時：平成29年 9 月25日(月)
15時00分～17時00分
場 所：名古屋銀行協会会館
2. 議 事 概 要 「表1」のとおり
3. 解 禁 指定なし
4. 配 布 先 中部地方整備局記者クラブ
5. 問い合わせ先 中部地方整備局 主任監査官 坪内 透
☎ 052-953-8113

表 1

平成29年度 中部地方整備局入札監視委員会
第一部会 第2回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成29年 9月25日(月) 15時00分～17時00分 名古屋銀行協会会館 2階 201号室	
委員	部長：尾島 茂樹 (大学院教授) 部長代理：永田 和寿 (大学院准教授) 委員：大島 嘉秋 (公認会計士) 中村 麻理 (大学教授) 橋本 修三 (弁護士) (委員は五十音順)	
審議対象期間	平成29年 4月 1日～平成29年 6月30日	
抽出案件	総件数 8 件	審議案件は表2のとおり
【工事】		
一般競争入札方式 (拡 大)	4 件	
随意競争入札方式	1 件	
【建設コンサルタント業務等】		
一般競争入札方式	1 件	
指名競争入札方式	1 件	
【役務の提供等及び物品の製造等】		
一般競争入札方式	1 件	
委員からの 意見・質問、 それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	表3のとおり	表3のとおり
委員会による 意見の具申 又は勧告の内容	な し	

表 2

抽 出 事 案 一 覧 表

(期間:平成29年4月1日～平成29年6月30日)

【工事】

番号	工 事 名	工 事 種 別	競争参加 資格を確認 した者の数	入札 参加 者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備 考
	(一般競争入札方式)								
1	H29 名古屋南公共職業安定所改修工事	建 築	1	1	H29.6.28	イリヤ建設(株)	49,680	98.37	営繕部(本官契約)
2	平成29年度 東海環状福田第1高架橋内回り鋼上部工事	鋼橋上部	12	11	H29.6.30	(株)IHIインフラシステム	638,280	89.98	岐阜国道事務所(本官契約)
3	平成29年度 国営公園木曾二維持工事	造 園	3	3	H29.4.3	柴垣造園土木(株)	18,036	99.82	木曾川上流河川事務所(分任官契約)
4	平成29年度 富士山立堀沢遊砂地工事	一般土木	7	6	H29.6.27	佐野藤建設(株)	125,280	94.12	富士砂防事務所(分任官契約)
	(随意契約方式)								
5	平成29年度 静岡国道管内道路清掃作業	維持修繕	—	—	H29.4.3	富士ロードサービス(株)	54,000	98.31	静岡国道事務所(分任官契約)

【建設コンサルタント業務等】

番号	業 務 名	業 種 区 分	競争参加 資格を確認 した者の数	入札 参加 者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備 考
	(一般競争入札方式)								
6	平成29年度 新豊根ダム貯水池深淺測量及び流量観測業務	測 量	1	1	H29.4.24	(株)フジヤマ	18,576	96.41	浜松河川国道事務所(分任官契約)
	(指名競争入札方式)								
7	平成29年度 単価契約名四国道境界杭設置及び図面修正業務	補償コン	11	11	H29.6.12	柴山コンサルタント(株)	6,015	78.11	名四国道事務所(分任官契約)

【役務の提供等及び物品の製造等】

番号	業 務 名	業 務 分 類	競争参加 資格を確認 した者の数	入札 参加 者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備 考
	(一般競争入札方式)								
8	平成29年度 単価契約図面複写等(木曾下)	役務の提供等	3	3	H29.4.3	水谷印刷(株)	2,367	100.00	木曾川下流河川事務所(分任官契約)

表 3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

I. 議 事		
(1)報 告	意見・質問	回 答
①工事に係る入札方式別発注工事一覧 ②建設コンサルタント業務等に係る入札方式別発注業務一覧 ③役務の提供等及び物品の製造等に係る入札方式別発注業務一覧 ④指名停止等の運用状況一覧表 ⑤談合情報等の対応状況 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況	「指名停止等の運用状況一覧表」の報告で、同じ工事関係者事故の要件で指名停止措置期間に差があるのはどのような理由によるものか。	指名停止措置期間の算定については、「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」の別表第1において、その措置要件毎に措置基準が定められており、その措置基準の範囲内で、工事関係者事故であれば、安全管理措置の不適切さ及び被害状況の軽重等により具体的に指名停止期間の算定を行っている。
(2)審 議		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び工事種別等を考慮したうえで抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回 答
【工事】一般競争入札方式(拡大)		
1. H29 名古屋南公共職業安定所改修工事	入札参加者が少ない理由として、来庁者が多く作業時間に制約等があり、長い工事期間が必要であることが要因ではないかという説明があったが、具体にはどういふことか。 入札参加者数を増やすためには、競争参加資格要件の緩和等の努力をされていると思うが、いわゆるトレードオフでそれと引き換えに、発注者側が品質確保等で許容しなければいけないところがあると思うが、どのようなことが考えられるか。	本工事の施工条件として、敷地が狭いこと、来庁者が非常に多いこと、また、既設の施設を使用しながらの改修工事であることから、既存施設の仮施設を施工しながら、複数のステップを踏んでの工程を組まざるを得なかったことから、工期が長くなったものである。 競争参加資格要件には、工事対象等級、同種工事の施工実績、地域要件等があるが、この中で大きなウエイトを占めると考えられるのが工事の施工実績と考えている。本工事の施工実績の設定については、改修工事ではあるが、新築、増築でも良いとし、工事内容も内装工事でも良いとしていることから、工事の施工実績の設定を緩和していると考えているが、残念ながら入札参加者が1者という状況になっている。
【工事】一般競争入札方式(拡大)		
2. 平成29年度東海環状福田第1高架橋内回り鋼上部工事	入札参加者の入札無効や入札辞退者が多いが、どのような理由によるものか。 本工事は技術提案にかかる加算が加算点に占める割合が高いが、技術提案にかかる加算点が低い場合には入札に参加できないことはないのか。	入札無効の4者のうちの2者については、入札後に他の工事を落札したことにより配置予定技術者が配置できなくなった旨を書面で提出されたことから入札を無効としたもので、他の2者については、入札金額が調査基準価格を下回っていたことから、施工体制確認のための追加資料の提出を要請したところ追加資料を提出しない旨を書面で提出されたことから、入札を無効としたものである。 入札辞退の1者については、入札前に申請書の取下げがあったものである。申請者へ通知する競争参加資格確認通知の際に、申請者から提出された技術提案の採否も合わせて通知しており、その結果の状況から判断し入札を辞退されたのではないかと推察している。 技術提案の加算点付与は最高30点としており、下限値は無く、技術提案にかかる加算点が低いことを理由に、入札に参加することができないことはない。
【工事】一般競争入札方式(拡大)		
3. 平成29年度国営公園木曽二維持工事	入札参加者数が少ないと見受けられるが、競争参加資格要件である地域要件の設定について、工事場所から近い三重県内の業者でも施工可能ではないかと思うがなぜ設定していないのか。	地域要件の基本的な設定方法として、木曽川上流河川事務所管内である岐阜県内、愛知県内を基本としており、その範囲内において競争参加可能者数が確保できない場合は、競争性が確保できるまで範囲を広げていくこととしている。本工事は岐阜県内、愛知県内で要件を満足する者を40数社確認している。

抽出案件	意見・質問	回 答
	<p>一般競争参加資格の工事対象等級の認定が変わったことにより入札無効とした者があるが、その経緯等について説明してほしい。</p>	<p>本工事の競争参加資格で求めた一般競争参加資格の認定等級については造園工事に係るB等級の認定であったが、今年度は2年間(平成29・30年度)の一般競争参加資格の認定の切り替え年度にあたり、当該者は昨年度まではB等級であったが、今年度4月からの認定でA等級となり、競争参加資格の要件を満たさなくなったため入札を無効とした。</p> <p>なお、一般競争参加資格の認定の際に等級が上がる場合については、従前の等級に留まることも可能であり、一定の手続きを行っていただければ本工事の落札も可能であったが、当該者は手続きをされなかった。</p>
【工事】一般競争入札方式(拡大)		
<p>4. 平成29年度 富士山立堀沢遊砂地 工事</p>	<p>申請書類の不備により競争参加資格を無しとしているが、そもそも必要な書類が出てなかったのか、書類の不備があったのか。また、その場合には、その者に対して必要な書類が添付されていない等の通知はしないのか。</p> <p>総合評価の加算点に施工体制確保の確実性の評価項目があるが、全者が満点になっており、評価に差がついていないが、容易に達成できる基準なのか。</p> <p>落札者が提出した同種工事の施工実績の工事成績が企業の施工実績と技術者の施工実績の成績点に大きな差がある理由は何か。</p>	<p>今回は必要な書類が提出されなかったため、競争参加資格を無しとした。</p> <p>入札説明書において、申請にあたっての必要な書類を明示しており、提出期限以降における申請書等の差し替え、再提出は認めない旨、明確に記載されており、提出期限内に提出された資料で判断することとしていることから、その者に対しての通知は行っていない。</p> <p>施工体制の評価については、調査基準価格を超え、予定価格の範囲内であり、施工体制上、問題がないと判断されれば満点となるケースが多い。</p> <p>落札者の工事成績の点数について、企業の施工実績は当方が過去に発注した施工実績とし、配置予定技術者については、他の発注機関が発注した施工実績を提出してきたことにより差が出ている。なお、加算点の評価にあたって、他機関の発注実績の工事成績については、各発注機関毎にそれぞれ評定基準を定めて成績評価を行っており、工事成績の基準が違うため、工事成績を一律65点とするルールとしていることから、加算点に差異が生じている。</p>
【工事】随意契約方式		
<p>5. 平成29年度 静岡国道管内道路清 掃作業</p>	<p>参加者確認型契約方式の公募手続きに至った経緯について、過去の入札参加者等の入札状況も踏まえ説明してほしい。</p> <p>積算や契約金額の決定はどのように行っているのか。</p> <p>このような清掃作業の入札参加者の状況は、他県でも同じ状況か。</p> <p>そういう状況があるのであれば、本作業の競争参加資格要件の地域要件を静岡県内から広げるという考えはないのか。</p> <p>平成23・24年度には複数の者が入札に参加していたということだが、他の業者を育成して、入札参加者を増やしていくといった考えはないのか。 担い手の確保という理由で参加者確認型的方式を作られたということなので、幅広く業者を育成していくという考えもあるのではないかとと思う。</p> <p>競争参加資格要件の地域要件を静岡県内としているが、競争参加資格要件を満足する者は何者いるのか。</p>	<p>平成23・24年度については2者の参加者があり、いずれも本作業の落札者が落札している。平成25年度から28年度の4年については1者の入札参加者で同様に本作業の落札者が落札している。</p> <p>本作業は作業範囲が広域的であり、また不測の事態に対応するため24時間体制を確保する必要があり、各路線の交通状況や地理を熟知した者でなければ作業に支障が生じるものと考えており、このような状況から当該落札者を特定予定者とする参加者確認型契約方式の契約手続きを今年度から行っている。</p> <p>積算は、積算基準に基づき積算して予定価格を作成している。契約予定者と見積合わせを行い、予定価格の範囲内で契約金額を決定している。</p> <p>愛知県内の状況でいえば、同様に道路管理を行っている事務所として名古屋国道事務所があり、平成24年度から28年度まで2者または3者の入札参加状況となっている。</p> <p>特殊な機械を使用する作業となることから地域要件を拡大しても遠方まで来ての入札参加は難しいのではないかと推察している。</p> <p>他の業者を育成するということは、現実的には厳しいと考えており、担い手確保という観点から、何とかこの事業から撤退しないよう、一定に安心して継続できる環境ができないかと考えており、今回の参加者確認型契約方式の試行を導入したところである。</p> <p>静岡県内で同種工事の施工実績を有する者として、27者を確認している。</p>

抽出案件	意見・質問	回 答
	<p>【意見】 本件の質疑に係る説明を伺い、非常に難しい課題があると思った。業者からすればおそらくこの作業は作業内容も大変で、受注するメリットも少ないと感じており、単純に競争参加資格の地域要件を広げ続ければ、いずれ資本の集約が始まり、業者の合併等、利益追求によりさらに敬遠することになり、非常に重要な作業であるにも関わらず、誰も請け負ってくれないことが考えられることから、今回採用した参加者確認型契約方式については、現時点で考えうる最善の形で行っていると考える。ただ時間軸で考えてみると、遅かれ早かれ、いずれ受注する業者がいなくなってしまうと考えられ、具体の入札手続きに係る審議を行う機関である入札監視委員会ではあるが、このような問題もあることを痛感した。今後もしいろいろと知恵を出していかなければいけないと感じた。</p>	
【建設コンサルタント業務等】一般競争入札方式		
<p>6. 平成29年度 新豊根ダム貯水池深 浅測量及び流量観測 業務</p>	<p>入札価格には予定価格や調査基準価格の一定の制限があるが、技術評価点には、ある一定の点数以上が必要等の基準や制限はないのか。</p> <p>本業務の過去の入札状況を教えてください。</p>	<p>基準や制限はない。</p> <p>平成25年度から29年度まで、毎年度、本業務の落札者と契約しており、その入札状況は平成25年度は12者の指名競争入札方式、平成26年度は21者の指名競争入札方式で行っており、平成27年度から今年度の平成29年度までは、一般競争総合評価落札方式で1者応札という状況であった。 入札参加者が少ない理由として、本業務場所が山間地であり、業務規模が小さいことや、通常の測量に加え、出水時においては出水状況による対応や洪水予測により長時間拘束されるなどの条件から、各々が総合的に判断されたものと推察している。</p>
【建設コンサルタント業務等】指名競争入札方式		
<p>7. 平成29年度 単価契約名四国道境 界杭設置及び図面修 正業務</p>	<p>指名業者選定の評価項目で地域精通度の配点基準等について教えてください。</p> <p>指名業者数は10者程度との説明があったが、その考え方について教えてください。</p> <p>各入札参加者の応札価格が同額、もしくは1円の差しかない入札価格が多数あるが、正確に積算できる資料が公表されているという理解でよいのか。</p>	<p>名四国道事務所における業務経験の有無について、業務経験がある場合は5点、無い場合は0点を付与している。 項目の設定理由については、履行場所が事務所管内であり、事務所の業務実績を有している者であれば、事務所業務に精通していると考えられることから、円滑な用地取得を図るうえで事務所の業務経験を設定している。</p> <p>基本は最高点から順次10者を選定することとしている。10位の者が複数あった場合には、同点の者全てを指名することとしている。</p> <p>積算に必要な基準や品質確保基準価格の算定方法は公表されており、入札参加者が積算金額を詳細に算定することが可能と考えられる。</p>
【役務の提供等及び物品の製造等】一般競争入札方式		
<p>8. 平成29年度 単価契約図面複写等 (木曽下)</p>	<p>履行期間を平成30年3月30日までとしている理由は何か。</p> <p>予定価格と落札金額が同額であるが、前案件と同様に正確に積算できる資料が公表されているという理解でよいのか。</p>	<p>平成30年3月31日は土曜日で閉庁日となっていることから、履行期間を3月30日までとしている。</p> <p>この業務については積算基準が無いため、市場価格調査として、過去の入札参加者に参考見積もりを依頼し、提出された見積書を比較して最低価格を予定価格としている。今回、同額となったのは、事前に提出した参考見積書と同額で入札した結果と考えられる。</p>